

# 魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《17》

スカートがめくれようが、おでこ全開になるうが、おかまいなしで階段を駆け上る。ホームに先に到着するのは、列車か、それとも私か。

高校へ通った三年間、毎朝のように三江線と、競争を繰り広げていた。

勝負の舞台は石見都賀駅。時折、列車の方が定刻通り、私よりはるかに早く到着し、私はまだ自転車をこいでいるという状況もあった。

しかし、友達が「あの子はまだ乗ってないです」と言ってくれど、疲れ切った状態の女子高生が

乗車するまで待っていてくれた。車掌さんが乗車していたころの話だ。駅は今も昔も変わらな

い。この石見都賀駅、三江線の駅にしては開放感あふれる造りになっている。隣の宇都井駅ほどではないが、高台に位置し、東西にのどかな田園風景と町並み、南北に雄大な江の川を見渡せる。

雨が降って江の川が増水すると、潮を吹いて泳いでいるようにも見え、この不思議な光景に、古くからさまざまな言い伝えが残されている。

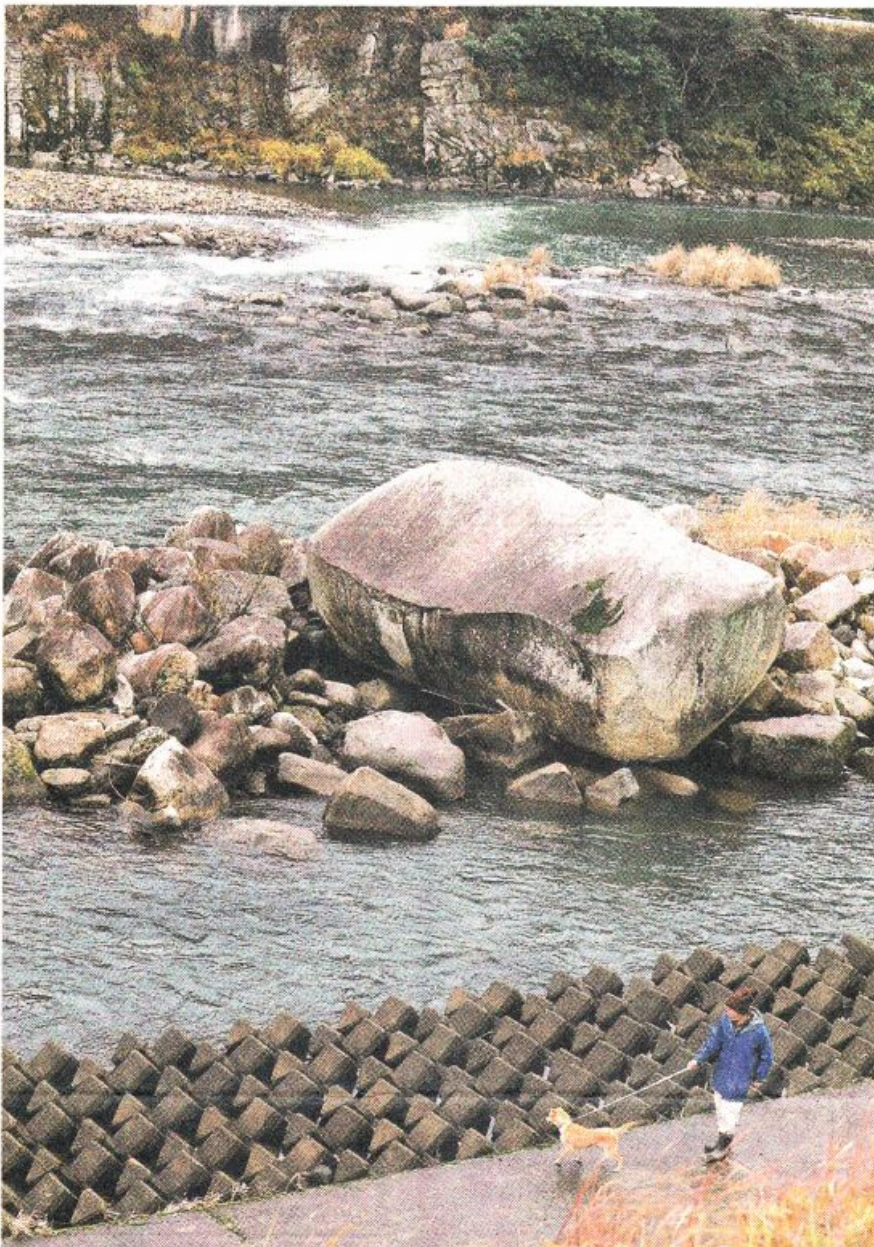
駅から北へ堤防沿いを進むと、川の中に大きな岩がある。

「鯨石」だ。この地区の江の川は中流とさ



## 石見都賀駅と鯨石

## 駅北に伝説の不思議岩



鯨石を傷つけようものなら血しぶきが上がるとか、年に豆粒ほど動いており、川の中央まで鯨石がせり出したとき、この世が終わるなど、世界の中心がここにあるような

言い伝えた。口承するお年寄りの表情は、笑っていたり、真剣だったり。でも、この地区のシンボルであるこの道を通るのもお薦めだ。そこには、松島甘源堂といから鯨石を見ることが出来る。黒糖風味の素朴なま

筋道も広く取らんじゅうは、都賀のお土産に最適な逸品だ。(邑智郡広域振興財団・高橋由美、美郷町都賀本郷在住)

国道375号の堤防沿い

隔週土曜日掲載

江の川の「荷越」瀬の上流に位置する鯨石。数多くの伝説が残る